

FUJISAWA  
OUR Project

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）シンポジウム

OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）における  
**市民参画プラットフォームを  
つくり、育てるために**

**2024.2.20（火）**

18:00-20:45（17:30 開場）



FUJISAWA

# OUR Project

## Okuda Urban Renovation

市民会館や南市民図書館などの公共機能を複合化して再整備する「生活・文化拠点再整備事業」

### OUR Project マスタープランを策定しました！

本プロジェクトは、市民のみなさんの「やりたいこと」をサポートすることを目指しています。

公民連携※の考え方のもと、市民のみなさんとともに、また、多様な民間主体（パートナー）と連携しながら、今後の取組を進めていきます。

※公民連携：「誰が作って、運営していくの？」で詳細を記載



## 新しい生活・文化拠点を整備する プロジェクトです

現市民会館、奥田公園を中心としたエリアにおいて、様々な公共機能の複合化や、内水浸水リスクの低減を図る施設の整備を行う事業です。



OUR Project  
(生活・文化拠点再整備事業)  
について

本プロジェクトについての詳細はこちら  
[https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/shiminkaikan/shiminkaikan\\_history.html](https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/shiminkaikan/shiminkaikan_history.html)



「未来への投資」を基本的な考え方として、  
市民の様々な活動を長期的にサポート



## ビジョン

ふじさわ MIRAI ファーム ～ここからはじまる未来への種まき～

なにかにチャレンジしたい人、これからを担う子どもたち、  
「まだ知らない新しい可能性」との出会いをみんなで応援します。

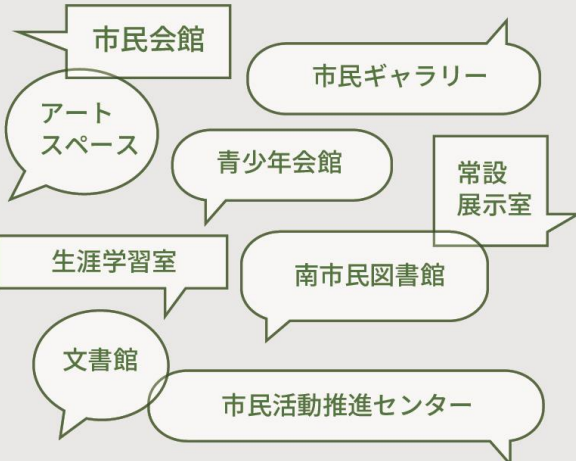
このプロジェクトでは、なにかにチャレンジしたい人とこれからを担う子どもたちの  
「体験」「実践」「挑戦」をとおした育ちや活躍を支援します。  
また、その中心となる人や活動、この場に集う人々をシームレスにつなげることで、  
多彩な活動を生み出すきっかけを作り、成長と共創が持続する未来を実現します。



## 対象エリアの中で 既存施設（機能）などを 整備します

対象エリアの中での各機能の配置は、  
今後の検討の中で決定していきます。

### 複合化する既存施設（機能）



### 整備対象とする施設（機能）



現藤沢市民会館：藤沢市鶴沼東8番1号 ※Google マップデータをもとに藤沢市作成

### （その他の機能）

防災備蓄倉庫 イベントスペース 内水浸水対策施設

## 目指すべき未来を 実現するための プロジェクト

本プロジェクトにおいては、生活・文化拠点で実施する各種の事業や取組を「コンテンツ」と呼び、ビジョンを実現するために必要なものを整理します。また、そのコンテンツの実施のために最適な施設・運営のあり方を検討していきます。

### 主なコンテンツ

市民オペラ

ギャラリー展示

アートスペース

子ども図書館

歴史文化の展示・解説

文書館資料の展示

青少年（子ども・若者）の  
居場所・活動

公益的な市民活動の推進

トライアルパーク

※上記は現状想定しているコンテンツの一部を紹介したものです。コンテンツの詳細については、OUR Project マスタープランをご覧ください。

周辺エリアと  
一体となった豊かな  
都市空間を創出します

奥田公園を中心に、豊かな緑地空間を生み出すことを目指します。  
また、シンプルかつベーシックな施設とすること、シームレス※  
な施設とすることにより、周辺に溶け込んだ拠点とします。  
具体的な施設のあり方は、今後検討のうえ決定していきます。

※シームレス：連続性や一貫性があり、区切りや境界線が感じられないこと。

## デザインコンセプト

新たなまちの・活動のシンボルとなる、  
周辺に溶け込み、緑や人をつなぐ、シームレスな都市空間



生活・文化拠点再整備  
アーバンデザインガイドライン基本編

本編は藤沢市 web サイトで公表しています

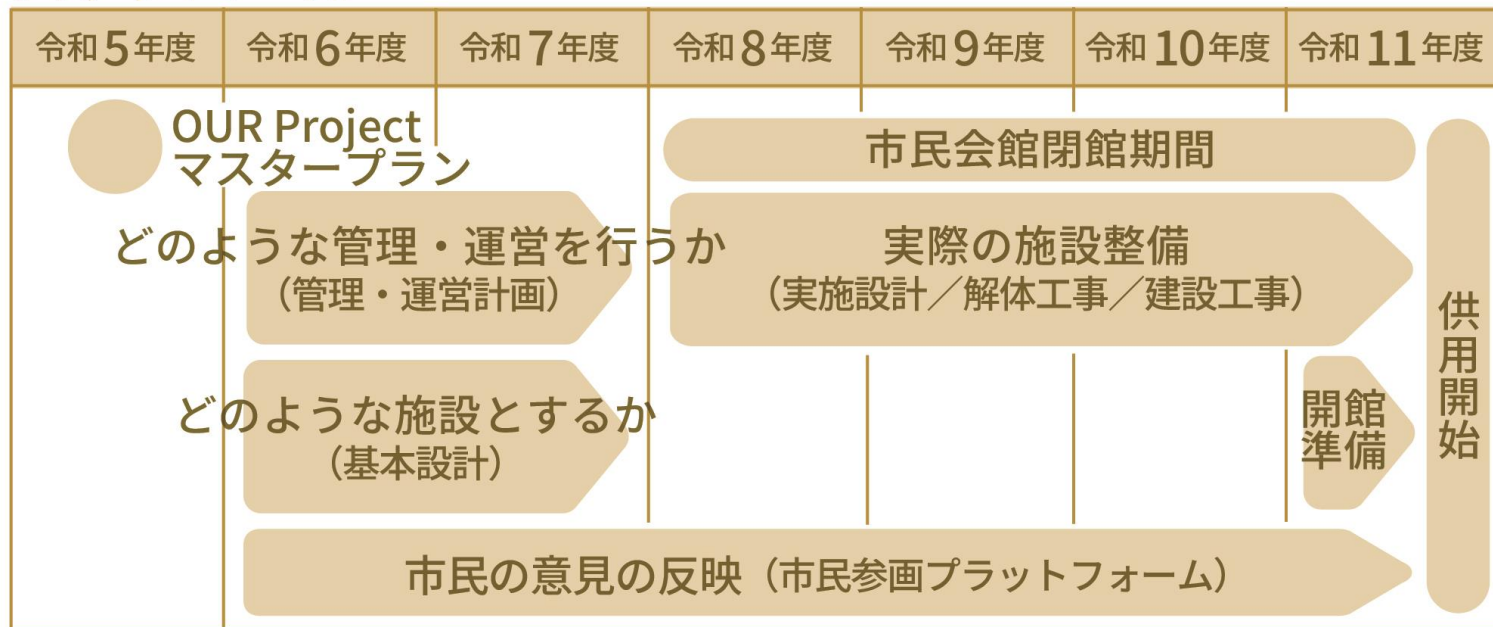
<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/shiminkaikan/urbandesign/kentouiinkai.html>

エリアデザインについては、生活・文化拠点再整備アーバンデザインガイドライン基本編で、望ましい都市拠点のあり方や整備において留意すべき基本的な事項をまとめています。

市民、民間パートナーとともに  
検討を重ね、令和 11 年度末の  
オープンを目指します

将来的に拠点の管理・運営を担うパートナー（管理・運営者）、施設のあり方を検討するパートナー（基本設計者）を早期に選定します。これらのパートナーと市民参画プラットフォームが連携し、拠点のあるべき姿を明確化したうえで、実際の施設整備を行います。

## スケジュール





## 市民のみなさんとともに 拠点を育てていくことを目指します

市民のみなさんは単なる利用者ではなく、生活・文化拠点をともに育てるプレイヤー（主体）です。

施設ができたあとも、市民、市、民間主体が連携し、施設を使いこなし、その利用のあり方を常に更新していくことを目指します。

### 公民連携

行政と民間事業者が協働しながら、  
市民と共に本プロジェクトを推進する形。  
三者の多様な連携を図ります。



## 兵庫県伊丹市：市立図書館ことば蔵

### 1 階交流フロアの活用を利用者と一緒に考える会議



ようこそ！としょかんへ  
伊丹市立 Itami City Library KOTOBAGURA  
図書館 ことば蔵

現在のページ ホーム ▶ 組織一覧 ▶ 教育委員会事務局生涯学習部 ▶ 伊丹市立

交流フロア運営会議

更新日：2024年01月24日

あなたのアイデアがことば蔵で実現

ことば蔵では、1階交流フロアの活用を利用者の皆さんと一緒に考える「交流フロア運営会議」を開催しています。「こんなイベントをしたい！」といったアイデアや企画はこの運営会議を経て実現ができるかもしれません。誰でも気軽に参加できるオープンな会議です。毎月第1水曜日18時30分開催しています。

- 1階交流フロアの活用についてのアイデアや企画を持ち寄り、会議を経て実現させていく
- 企画書を交流事業担当へ提出→運営会議で発案をする→企画の実現へ
- 運営会議で自由にアイデアや意見を出し合った企画が年間200回を超えるイベントに繋がっている

## 長野県：県立長野図書館 信州・学び創造ラボ

「信州・学び創造ラボ」のあり方について、一緒に考えていく2つの企画

### ラボ・デザイン会議 #13



- 信州・学び創造ラボで「やってみたいこと」等の活動のアイデアを語りながら参加者でつながる、きっかけの場
- ラボの運営に関するルールやこの空間でやってみたいことなどを、ジブンゴトとして考え、実際の活動につなげていく
- 多様なテーマを題材に、ラボという「みんなの空間」をつくることに必要な「仕組み」、どんな「過ごし方」や「使いかた」があるのか等を話し合う

## 新潟県小千谷市：図書館等複合施設整備事業

市民と行政が一緒に対話しながら進める「わたしたちの施設づくり」、  
そして「わたしたちのまちづくり」への展開を目指すリビングラボ

The screenshot shows the official website of Ojiya City. At the top, there is a navigation bar with the city logo and name '小千谷市 Ojiya City Official Site'. Below this are options for language selection (English, 中文, 한국어), background color (白, 黒, 青), and text size (標準, 拡大). A main menu includes categories like '暮らし・手続き', '子育て・教育', '健康・医療・福祉', and '企業'. The breadcrumb trail reads: '現在地 > トップページ > 分類できず > 市政情報 > 施策・計画 > 都市整備 > 小千谷リビングラボ「at！おぢや」'. The current page title is '小千谷リビングラボ「at！おぢや」'. The main content area contains the text: 「at！おぢや」は、本町1丁目の病院跡地に整備する図書館等複合施設について、市民のみならず「わたしたちの施設づくり、まちづくりの場」です。小千谷市民だけでなく、小千谷市に関心のある方、子どもからお年寄りまで、どなたでも参加できます。気軽にご参加ください。 At the bottom, there is a section for the '第16回小千谷リビングラボ「at！おぢや」'.

- 図書館等複合施設を市民と行政がともに考え対話しながら進める場  
対話を重視したワークショップ形式がメイン
- 施設整備事業について、そしてゆくゆくはまち全体に関わる課題についても取り組んでいけるような持続的な体制を目指し長期的なプログラム設計のもと、開催を重ねている
- リビングラボに参加する中で芽生えた参加者によるアイデアが「わたしの本をつくる」というプロジェクトへ発展



## 東京都：東京都美術館・東京藝術大学

美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト「とびらプロジェクト」・広く一般から集まったアート・コミュニケータ「とびラー」

東京都美術館 × 東京藝術大学  
とびらプロジェクト

とびらプロジェクト  
ってなに?      活動紹介      アーカイブ      お知らせ・募集      インタビュー

「アート・コミュニケータ」をとびラーとよびます。

# とびラー募集!

定員 40名

締切 2024.1.31 水 消印有効

Navigation icons: Home, About, Archive, News, Interview, and a circular logo.

- 公募で集まった、とびラー（アート・コミュニケータ）は「基礎講座」と「実践講座」、「とびラボ」を通し理解を深め、学芸員や大学の教員などの専門家とともに、能動的なプレイヤーとして活動する
- 任期が3年であり、満了した多くのとびラーが、活動を通して育んだスキルを活かしながら、対話のある社会の実現に向けた活動を継続している